

**J Aグループ神奈川の組合員・役職員・事業利用者の皆様へ**  
－新型コロナウイルス緊急事態宣言の延長を受けて－

J Aグループ神奈川の組合員・役職員の皆様、日頃の協同活動へのご尽力に対しまして、深く感謝申し上げます。また県産農畜産物のご購入やJ A各事業のご利用を通じ、県内農業振興に多大なお力添えをいただいている地域の皆様に、心よりお礼申し上げます。

本来ならば希望に満ちた新緑の季節を迎えたにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言により、不要不急の外出自粛や一部業態を除く休業要請により、催事等を中止・延期せざるを得ない状況にあります。

私たちJ Aの最も重要な使命は、食料を安定的に地域の皆様にお届けすることであり、併せて金融・共済など必要不可欠な生活インフラも提供することです。

その使命を果たすべく、組合員の皆様には、非常事態ともいえる情勢のなかでも、日々安全・安心な農畜産物の生産・供給にお励みをいただき、生鮮食品を中心とする食料の安定した供給が継続されています。

各J A・連合会の役職員の皆様には、未知のウイルスに対する感染症対策に取り組みながら、農業生産と社会生活を支える日々の業務にあたっていただいております。

また、相模原、伊勢原の両協同病院の医師・看護師・病院スタッフをはじめ厚生連役職員の方々は、身を挺して対応していただいております。

それぞれの皆様に、心より深い敬意と感謝の意を表しますとともに、J Aグループ神奈川の総力を挙げて、コロナウイルスとの闘いに立ち向かいましょう。

自分を守ること、そして自分の大切な人を守る一人ひとりの行動が、社会と未来を守ることにつながります。事業利用者の皆様には、J Aの農産物直売所や店舗において、感染症対策の徹底などご利用の際にご不便をおかけしております。組合員・事業利用者・役職員等の安全を第一に、農業生産と日常生活に必要な事業の継続に取り組んでまいります。

J Aグループ神奈川は一丸となってこの難局を乗り切らなければなりません。改めて協同の力の発揮に向け、皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。この危機を他の協同組合や広く県民の皆様とも協力し克服したとき、地域社会における協同の絆が、さらに強固なものとなっていることを確信しています。力を合わせて頑張りましょう！

令和2年5月9日

J Aグループ神奈川新型コロナウイルス対策本部長  
神奈川県農業協同組合中央会 代表理事会長 長 嶋 喜 満